

対象年度	H16	作成部課室	環境生活部男女共同参画推進課	関係部課室	環境生活部青少年課, 保健福祉部障害福祉課, 長寿社会政策課, 地域福祉課
------	-----	-------	----------------	-------	---------------------------------------

A - 1 - 1 政策と施策の関係・施策の体系:規則 § 6 1号関連

政策番号	3-7-3	政策名	男女共同参画社会の実現と全ての人が参加できる社会の形成
政策概要	家庭、地域、職場などあらゆる場面において、性別や年齢、障害の有無などに関係なく、一人ひとりの個性や能力を十分に発揮できる社会の実現を目指します。		
施策番号	施策名 施策概要	政策評価指標	
1	男女がともに個性と能力を発揮できる社会づくり すべての男女がともにその個性と能力を発揮し、あらゆる分野で協力し合う「男女共同参画社会」の実現のため、男女が性別にかかわらずあらゆる場に対等に参画できるような環境づくりを目指します。	・県の審議会等委員の女性比率	
2	青少年の社会参加 次の時代を担う青少年が、地域活動やボランティア活動などを通して積極的に社会にかかわり、社会性が豊かにはぐくまれていく社会を目指します。		
3	障害者の社会参加 障害者が地域の中で自立し、いきいきと暮らすことのできる社会づくりを目指します。		
4	高齢者がいきいきと生活する社会づくり 高齢者がその能力を生かして社会に貢献し、いきいきと暮らすことのできる社会づくりを目指します。	・高齢者のうち就業・社会活動している者の割合	
5	女性や子ども、高齢者や障害者等の人権の擁護 認知症高齢者や知的障害者、精神障害者などの方々が福祉サービスを適切に利用し、住み慣れた地域で自立した地域生活を送れるよう、福祉サービスの利用に関する情報提供や利用に関する体制づくりを目指します。	・提供するサービスに関し第三者評価を実施した入所施設の割合	

A - 1 - 2 県民満足度(政策)の推移:規則 § 6 1号関連

(単位:点)

	第1回(H13)	第2回(H14)	第3回(H15)	第4回(H16)	
重視度(中央値) A	70	70	70	70	
満足度(中央値) B	60	59	59	60	
かい離 A-B 【かい離度】	10 【中】	11 【中】	11 【中】	10 【中】	

かい離:極めて高い(40点以上),非常に高い(30点以上~40点未満),高い(20点以上~30点未満),中(10点以上~20点未満),低い(10点未満)

A - 1 施策群設定の妥当性:規則 § 6 1号

適切

概ね適切

課題有

A-1-1 【政策目的に沿った施策か】 概ね適切 ・政策目的実現のためには、性別、年齢、障害の有無にかかわらず、全ての人が社会の対等な構成員として、自らの意志によって社会のあらゆる活動に参画する機会が確保され、ともに責任を担う社会を実現する必要があり、各施策全てが必要と認められる。  【施策の重複・矛盾点の有無】 概ね適切 ・施策1で、男女が性別にかかわらずあらゆる場に対等に参画できる環境づくりを推進し、施策2で、次代を担う青少年の社会参加を促進するとともに、施策3で、障害者の社会参加を促進し、策4で、高齢者がいきいきと生活できる社会づくりの推進、施策5で、女性や子ども、高齢者、障害者等の人権擁護のための体制を整備するもので、各施策における重複等は認められない。
A-1-2, A-1-3 【県民満足度・社会経済情勢から見て必要か】 概ね適切 ・政策満足度のかい離度は「中」であり、県民は本施策を必要と感じていると判断される。 ・施策ごとでは、社会情勢や施策満足度等の結果からも、目的である政策を実現するために各施策は必要である。

A - 1 - 3 一般県民満足度の推移と社会経済情勢(施策毎):規則 § 6 1号関連

施策番号	一般県民満足度調査結果(施策)			社会経済情勢に適合した施策か	必要性総括
	優先度(直近の3回)	県民が必要と感じているか( )			
1	第4回	35.2%	1位	・本施策の優先度は5施策中1位である。 ・本施策のかい離は18点と中程度である。 【結論】 必要性:ある程度感じている	大
	第3回	35.8%	1位		
	第2回	37.2%	1位		
2		10.0%	4位	・本施策の優先度は5施策中4位である。 ・本施策のかい離は25点と高い。 【結論】 必要性:かなり感じている	大
		10.4%	4位		
		10.4%	4位		
3		6.1%	5位	・本施策の優先度は5施策中5位である。 ・本施策のかい離は28点と高い。 【結論】 必要性:ある程度感じている	大
		7.0%	5位		
		6.8%	5位		
4		27.2%	2位	・本施策の優先度は5施策中2位である。 ・本施策のかい離は15点と中程度である。 【結論】 必要性:ある程度感じている	大
		27.2%	2位		
		25.9%	2位		
5		20.8%	3位	・本施策の優先度は5施策中3位である。 ・本施策のかい離は19点と中程度である。 【結論】 必要性:ある程度感じている	大
		19.2%	3位		
		18.7%	3位		

必要性のランク【結論】:非常に感じている > かなり感じている > ある程度感じている > 比較的感じていない > あまり感じていない

A - 2 政策評価指標群の妥当性:規則 § 6 2号

適切 概ね適切 課題有

【施策の有効性を評価する上で適切か】 適切 ・各指標とも適切であり、今後も継続する。 「政策評価指標分析カード」から
【重視すべき施策に指標が設定されているか】 適切 ・各施策が必要性「大」となっており、適切に指標が設定されている。

A - 3 施策群の有効性:規則 § 6 3号

評価シート(B) A-3-1「施策の有効性」から

有効 概ね有効 課題有

視点	政策全体	施策1	施策4	施策5			
政策評価指標達成度	概ね有効	概ね有効	課題有	有効			
県民満足度	有効	概ね有効	有効	有効			
社会経済情勢	有効	概ね有効	有効	有効			
全体	有効	概ね有効	有効	有効			

A 政策評価(総括):規則 § 6

適切 概ね適切 課題有

・本政策は、社会経済情勢、県民満足度調査結果から必要であり、目的である政策を実現するために各施策は有効であり「概ね適切」と判断される。
---

対象年度 H16

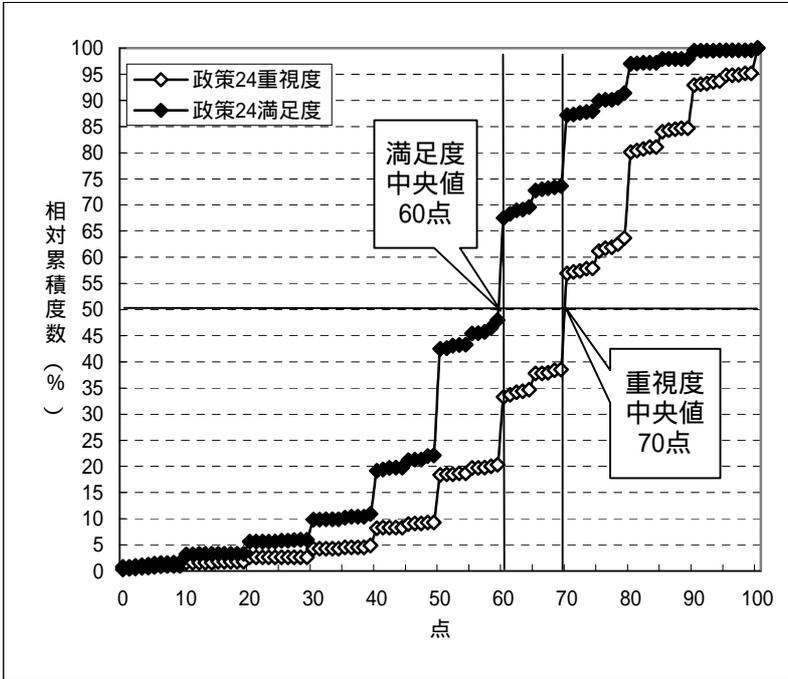
政策番号 3-7-3

政策名 男女共同参画社会の実現と全ての人が参加できる社会の形成

(1) 一般県民満足度調査結果

高関心度 61.4

高認知度 54.8



**高関心度**  
「政策」の内容に対する関心の高さを示す数値であり、満足度調査の関心度に関する設問中「関心があった」、「ある程度関心があった」を選択した回答者の全回答者に対する割合

**高認知度**  
「政策」の内容について知っている度合いの高さを示す数値であり、満足度調査の認知度に関する設問中「知っていた」、「ある程度知っていた」を選択した回答者の全回答者に対する割合

基本統計量						
全県						
項目	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
中央値	70	70	75	60	60	60
第1四分位	-	-	-	50	50	50
第3四分位	-	-	-	70	70	70
四分偏差	-	-	-	10	10	10

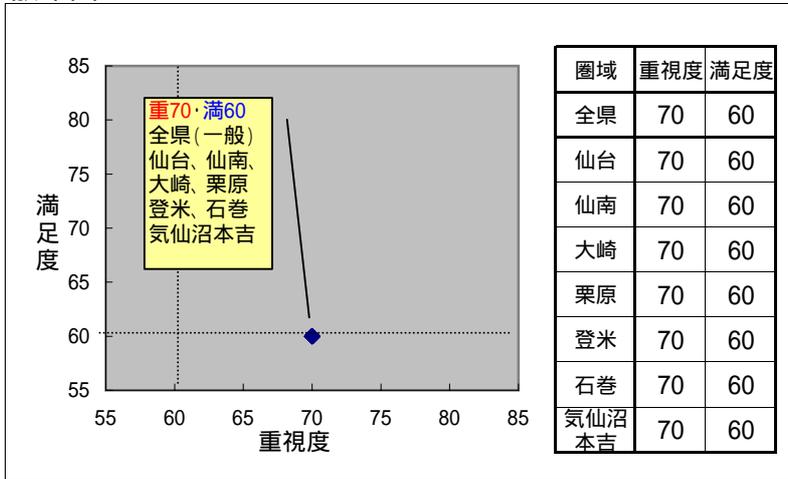
  

圏域別中央値(一般、市町村のみ)						
圏域	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
全県	70	70	-	60	60	-
仙台	70	70	-	60	60	-
仙南	70	70	-	60	60	-
大崎	70	70	-	60	60	-
栗原	70	70	-	60	60	-
登米	70	70	-	60	60	-
石巻	70	70	-	60	60	-
気仙沼本吉	70	70	-	60	60	-

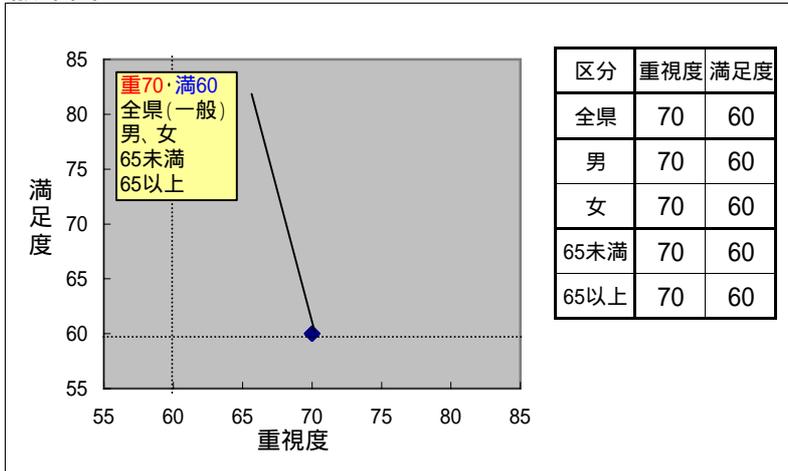
  

男女別・年代別中央値(一般のみ)						
区分	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
全県	70	-	-	60	-	-
男	70	-	-	60	-	-
女	70	-	-	60	-	-
65未満	70	-	-	60	-	-
65以上	70	-	-	60	-	-

散布図



散布図



対象年度 H16

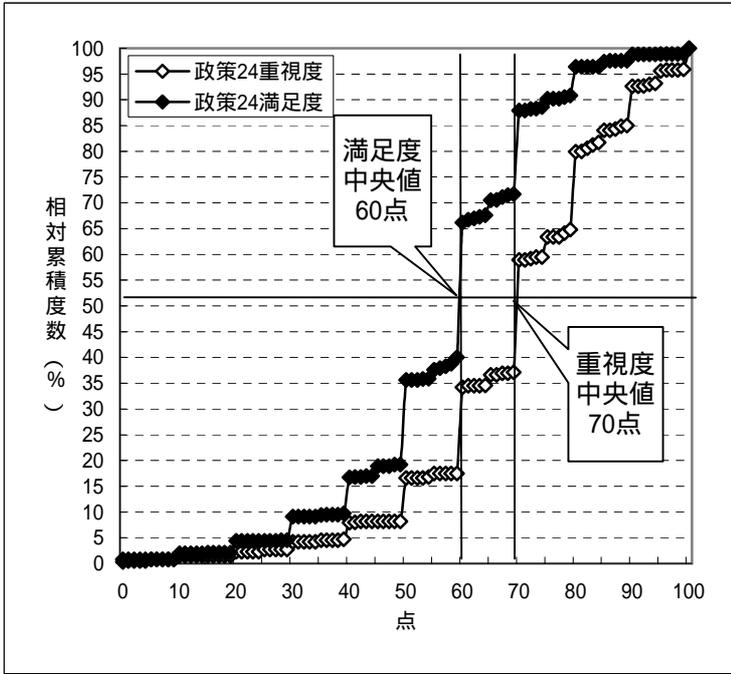
政策番号 3-7-3

政策名 男女共同参画社会の実現と全ての人が参加できる社会の形成

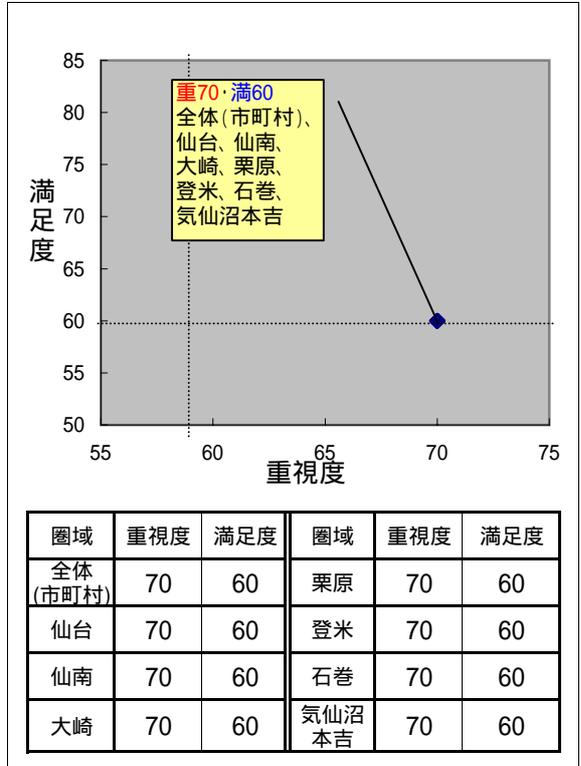
(2) 有識者(市町村) 県民満足度調査結果

高関心度 71.9

高認知度 85.3



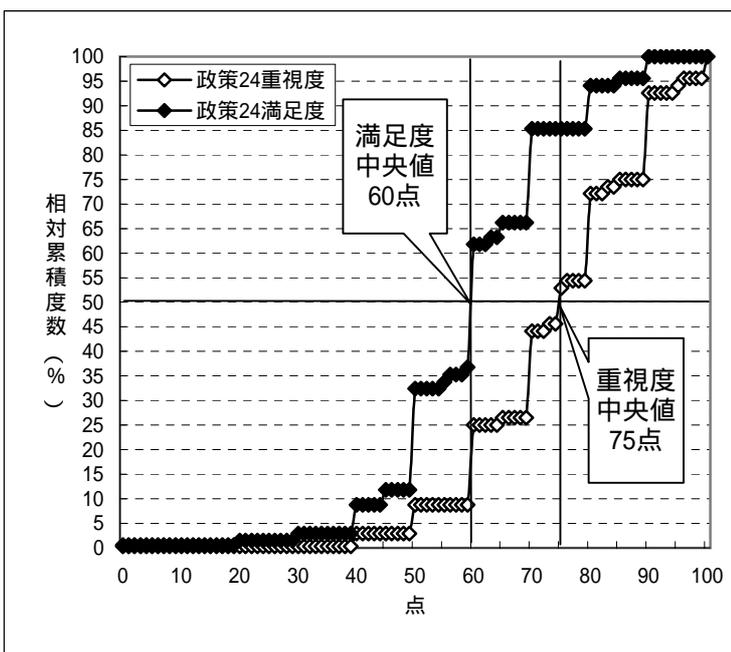
散布図



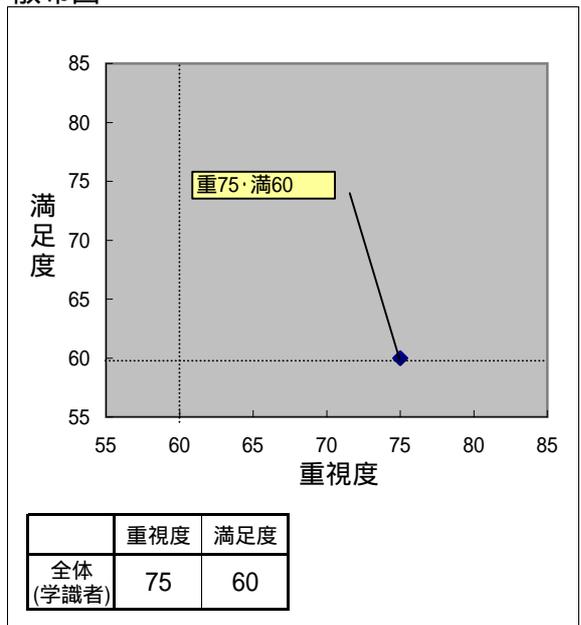
(3) 有識者(学識者) 県民満足度調査結果

高関心度 79.4

高認知度 80.9



散布図

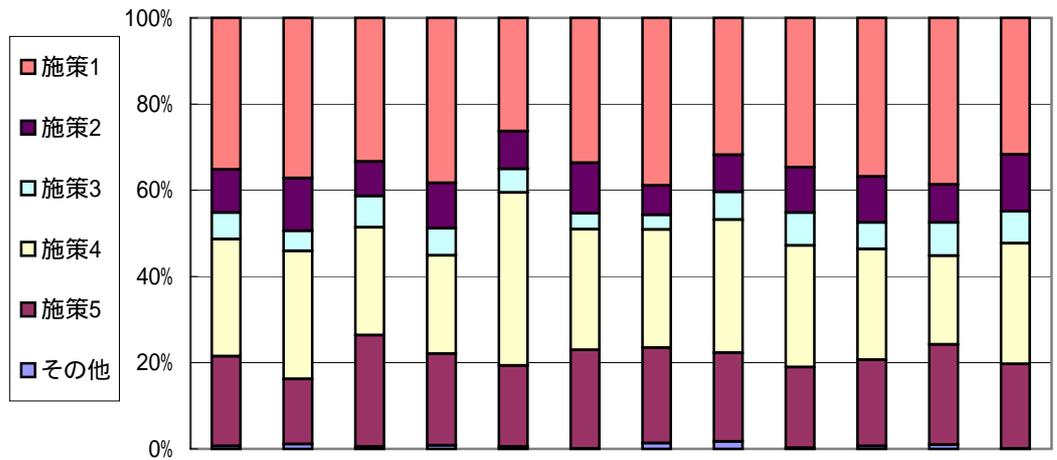


対象年度 H16

政策番号 3-7-3

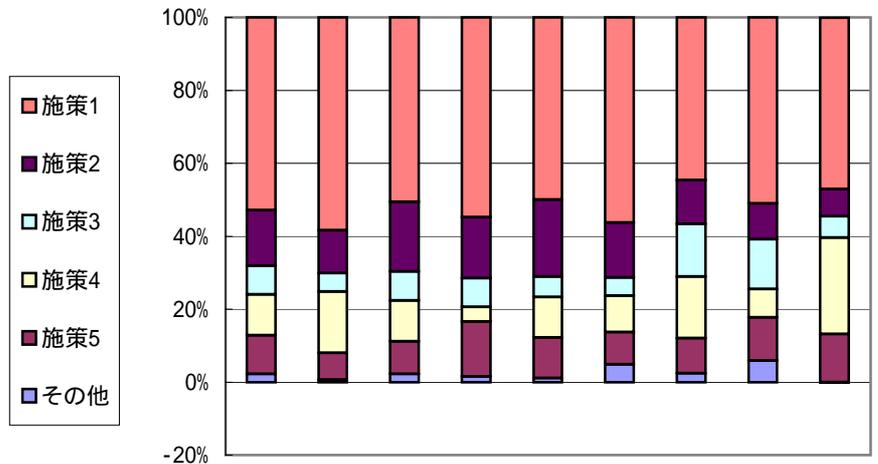
政策名 男女共同参画社会の実現と全ての人が参加できる社会の形成

(4) 一般県民満足度結果(施策別・優先度1位割合)



施策番号	施策名	全体	男	女	65未満	65以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 本吉
施策1	男女がともに個性と能力を發揮できる社会づくり	35.2	37.2	33.3	38.3	26.3	33.6	38.9	31.8	34.7	36.8	38.7	31.7
施策2	青少年の社会参加	10.0	12.2	8.0	10.5	8.7	11.7	6.8	8.6	10.5	10.7	8.8	13.2
施策3	障害者の社会参加	6.1	4.7	7.3	6.3	5.5	3.7	3.4	6.4	7.6	6.1	7.7	7.4
施策4	高齢者がいきいきと生活する社会づくり	27.2	29.7	25.0	22.8	40.2	28.0	27.4	30.9	28.2	25.7	20.6	28.0
施策5	女性や子ども、高齢者や障害者等の人権の擁護	20.8	15.1	25.9	21.3	18.8	22.9	22.2	20.6	18.8	20.0	23.2	19.6
	その他	0.7	1.1	0.5	0.8	0.5	0.1	1.3	1.7	0.2	0.7	1.0	0.1

(5) 有識者(市町村・学識者)県民満足度結果(施策別・優先度1位割合)



施策番号	施策名	市町村優先度								学識者優先度
		全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 本吉	
施策1	男女がともに個性と能力を發揮できる社会づくり	52.9	58.4	50.6	54.8	50.0	56.3	44.6	51.0	47.1
施策2	青少年の社会参加	15.2	11.7	19.1	16.7	21.1	15.0	12.0	9.8	7.4
施策3	障害者の社会参加	7.9	5.1	7.9	7.9	5.6	5.0	14.5	13.7	5.9
施策4	高齢者がいきいきと生活する社会づくり	11.2	16.8	11.2	4.0	11.1	10.0	16.9	7.8	26.5
施策5	女性や子ども、高齢者や障害者等の人権の擁護	10.6	7.3	9.0	15.1	11.1	8.8	9.6	11.8	13.2
	その他	2.2	0.7	2.2	1.5	1.1	4.9	2.4	5.9	(0.1)